

我が町あれこれ情報★

◇郷地・東町むかしむかし(8) 【多摩川の大水で消えた村の話】

昭島市の多摩川沿いの町名は、江戸時代からほぼ現在と同じ村名が存在していました。それぞれの村は、多摩川の水を使うために河原近くにあり、上流から拝島、田中、上川原（上河原）、大神、宮沢、中神、築地、福島、郷地と並んでいたらしいのです。すいぶんと不確かな言い方ですが、実は現在の上川原と築地の町域は、多摩川に面していません。どちらの村名も水に関係していることは、文字からも想像ができます。「築地」は川や海を埋めて造った土地のことですし、「上川原」も河原に近い場所と考えられます。多摩川の渡し舟乗り場が市内の区域内に4か所あり、一番下流の乗り場が「築地の渡し」として場所が分かっているので、そのあたりが築地村であったと考えられます。しかし、上川原村は家や田畠が洪水で流されたため、現在の土地に移住したと言い伝えられていますが、いつの大水か、流出したとされる元の村落がどこなのかは、はっきりしていないとのことです。更にこの2村に加えて、現在の国道16号線の拝島橋の八王子側（市の清掃工場のある場所）に、作目（さくめ）という村がありました。

この村は1685年（5代将軍綱吉・生類憐みの令の頃）の大水で家や田畠ばかりではなく、村人も根こそぎ飲み込まれてしまいました。無人となつた村は拝島と田中の領域に併合され、墓地は田中村の観音寺に移されたとのことです。多摩川は幾

度となく氾濫を繰り返した暴れ川で、その度に郷地や福島の田畠は水没し、土地のお百姓さんは修復に大変な苦労をされたということです。どの辺まで水が来たのかが分かる話に、「安政の大水（1859年）」では福島の広福寺の庭先の石垣まで多摩川の水が溢れて、境内から船を出して、取り残された人々の救助にあたったとの記録があるそうです。それと、立川市富士見町の富士塚交番裏の富士塚（浅間神社）は、江戸時代の度重なる



囲ま晴る上
はすら富に
殆がし土浅
ど見今良。神
えはか昔社
ま木つはが
せんにた上祀
覆とかられ
わ思られわのて
周れ見い

大水で、柴崎村の田畠（現在の立川の農林総合研究センターの実験農場・奥多摩街道の南側の低地）に流れてきた玉石を取り除き、捨て場として畑作の邪魔にならない現在地に積み上げたものだとも、言われています。昭和30年代頃までは、上流から流されてきた一抱えもある玉石が河原にゴロゴロしていましたが、砂利採取の影響で全く見なくなってしまいました。砂利がなくなり、粘土層がむき出しになった河原から、クジラがほぼ完全な化石として発見され（昭和36年・八高線鉄橋の下流）、後に「アキシマクジラ（アキシマエンシス）」と命名され「くじらまつり」へつながっているのです。

（東町・福田 晃）



～地域住民交流の場～ 郷地・東町のサロン活動情報！

◆東町集会所の「東町サロン」

●毎月第1月曜日の午前10時～12時に開催。

参加費は100円。

◆問合せ：TEL042-541-4848 藤森さんまで

◆昭島団地自治会館で開催しているサロン

「いしまとう」…囲碁・将棋・麻雀を楽しむサロン。

●毎月第1日曜日の10時～16時に開催。

参加費は200～300円

「あおぞら寄席」

●2・5・8・11月の年4回、

13時～15時に開催。

◆8月は23日に桂笠丸さん（写真）と
もう一人が出演予定です。



参加費は、大人600円、高校生以下200円。



入れ取場
まりは
す40ス
名ペー
ス
入を会

「麻雀同好会」

●毎月第2・4月曜日の13時～16時に開催。

参加費は200円。

◆問合せ：TEL080-5185-0444 清水まで

※コロナ対策のため開催に変動がありますので、参加されたい時は事前に担当者までご連絡ください。

※昭島団地自治会館はサロン用の駐車場があります。

車での来訪時は受付にその旨申し出てください。